

2020年度 電子情報通信学会 第3回 SWIM 専門委員会 議事録

○開催日時:2020年11月28日(土) 10:00-12:00

○場 所 :オンライン開催

○出席者 :小倉、工藤、石野、山田、片岡、小松、辻、林、堀米、能上、須栗、上田、
五月女(敬称略・順不同)

議題:

1. 2020年度体制
2. 2020年度計画(フォロー)
3. 2021年度事業計画
4. SWIM研究会活性化
5. その他

1. 2020年度体制

① 2020年度体制(委員長、副委員長、幹事、幹事補)

委員長	石野 正彦	--	--
副委員長	五月女 健治	副委員長	林 章浩
幹事	能上 慎也	幹事	山田 耕嗣
幹事補	工藤 司	幹事補	辻 孝吉

② 専門委員

2020年度専門委員は下記の通り。

役職名称 氏名 (所属)

委員長 石野 正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)
 副委員長 五月女 健治 (法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)
 副委員長 林 章浩 (静岡理工科大学 情報学部情報デザイン学科)
 幹事 能上 慎也 (東京理科大経営学部経営学科)
 幹事 山田 耕嗣 (大阪産業大学デザイン工学部情報システム学科)
 幹事補佐 工藤 司 (静岡理工科大学 情報学部 コンピュータシステム学科)
 幹事補佐 辻 孝吉 (愛知県立大学 情報科学部)
 専門委員 荻野 正 (明星大学 情報学部 情報学科)
 専門委員 宇田川 佳久 (東京情報大学 総合情報学部)
 専門委員 丸山 文宏 (株式会社富士通研究所 人工知能研究所)
 専門委員 結城 修(キャン(株)宇都宮事業所光学技術研究所)
 専門委員 須栗 裕樹 (宮城大学 事業構想学群)
 専門委員 堀米 明 (株式会社フィンオ 経営戦略室長)
 専門委員 片岡 信弘 (元東海大学、インタグライズ 研)
 専門委員 新川 芳行 (元龍谷大学)
 専門委員 宮西 洋太郎 (株式会社アイエスイーエム 元宮城大学)
 専門委員 増井 久之 (電気学会 IEEJ プロフェッショナル)
 専門委員 黒瀬 晋 (元 NEC)
 専門委員 小松 昭英 (APSOM)
 専門委員 北村 浩(摂南大学 経営学部)
 専門委員 上田 敏樹(東洋大学国際学部)
 専門委員 伊藤 修朗(榊豊田中央研究所)
 専門委員 染谷 治志(鳥取環境大学 経営学部 経営学科)
 専門委員 平塚 三好(東京理科大 工学部)
 専門委員 小野里 好邦(放送大学)
 専門委員 小倉 博行(日本大学商学部)

③ 2020 年度の各種委員

業務	2019 年度	備考
会計	能上	学会の仕事
ソサエティ誌委員	五月女	学会の仕事
FIT	林	学会の仕事
総合大会	荻野	学会の仕事
ホームページ	須栗	IEICE 上
メーリングリスト	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	表彰委員会規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	幹事、専門委員	
査読委員長	須栗	9 後半締切後, 11 月採否
ICEIS の担当	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マター	
進捗管理(活動フォロー)	片岡	
英文誌編集委員	工藤	

2. 2020 年度計画(フォロー)

① 2020 年度の各研究会の開催場所・世話人・テーマ

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ページ 数予定	備考
第1回 研究会 開催中止	5月22日 (金)23 日(土)	機械振興会館	荻野 上田	1月 中旬		10	60	デジタルエコミーとインタブ ライズ、一般 ※KBSE と共催、
第2回研 究会	8月21日 (金)	オンライン開催	五月女	5月 初旬	6月12日 6月21日	11 6	67 33	ソサエティ5.0に向けたサ ービスコンピューティングとイ ンタブライズモデル化技 術、一般 ※SC と共催確定
FIT2020	9月1日 (火)-3日 (木)	北海道大学 オンライン開催	林			--	--	聴講者は当日参加費 の半額
第3回研 究会	11月28日 (土)	機械振興会館 オンライン開催	小倉	7月 中旬	9月25日	6	45	経営とIT、一般 (ワークショップ) 基調講演:富士通研 究所の丸山委員「AI の国際標準化」
第4回研 究会	2月19日 (金)	機械振興会館 オンライン ハイブリッド開催	山田	11月 月上旬	12月25日	8	50	ビジネス評価と信頼 性、学生セッション、一般 基調講演の候補は、 SCSK(株) 上席執行役 員 古宮浩行氏
2021年 総合大会	3月9日か ら12日	東工大	荻野			--	--	
					合計	37	241	

- ・ 基調講演者も論文1ページ目だけでも概要を書いて頂くと発表件数に加えることができる。
- ・ 研究会の発表時間について、標準時間は、発表時間 25 分・質疑応答 10 分とする。

② 2020 年度専門委員会計画

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする。第2回のみ8/31(月)に開催とする。

	日時	開催場所	テーマ
第1回専門委員会	5月23日(土) 10時-12時	オンライン開催	年度実行計画 FIT2020フォロー
第2回専門委員会	8月31日(月) 10時-12時	オンライン開催	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2021年度事業計画
第3回専門委員会	11月28日(土) 10時-12時	機械振興会館 オンライン開催	2021年度体制 総合大会フォロー
第4回専門委員会	2月19日(金) 10時-12時	機械振興会館 およびオンライン(仮)	論文賞選考委員会の立ち上げ 2021年度新体制の提出

3. 2021 年度事業計画

次年度の活動計画と予算案をまとめる。

① 2021 年度体制(委員長、副委員長、幹事、幹事補)

委員長	五月女 健治	--	--
副委員長	林 章浩	副委員長	
幹事	能上 慎也	幹事	山田 耕嗣
幹事補	工藤 司	幹事補	辻 孝吉

② 2021 年度の各種委員

業務	2021 年度	備考
会計	能上	学会の仕事
ソサエティ誌委員	五月女	学会の仕事
FIT	林	学会の仕事
総合大会	荻野	学会の仕事
ホームページ	須栗	IEICE 上
メルマガリスト	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	表彰委員会規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	幹事、専門委員	
査読委員長	須栗	9 後半締切後, 11 月採否
ICEIS の担当	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マク	
進捗管理(活動フォロー)	片岡	
英文誌編集委員	工藤	

③ 2021年度の各研究会の開催場所・世話人・テーマ

	日時(仮)	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ページ 数予定	備考
第1回研究会	5月21日 (金)-22日 (土)	機械振興会館 可能なら6F	辻	1月 中旬		11	70	デジタルエコノミーとインタ プライズ、一般 ※KBSEと共催
第2回研 究会	8月20日 (金)	大阪産業大学 梅田サライ キャンパス	山田	5月 初旬		11	70	ソサエティ5.0に向け たサービスコンピュテー ティングとインタプライズモ デル化技術、一般 ※SCと共催
FIT2021	8月25-27 日	東北学院大学	林			--	--	
第3回研 究会	11月27 日(土)	機械振興会館 可能なら6F	小倉	7月 中旬		10	60	経営とIT、一般 (ワークショップ)
第4回研 究会	2月18日 (金)	機械振興会館 可能なら6F	工藤	11 月上旬		8	50	ビジネス評価と信頼 性、学生セッション、一 般
2022年 総合大会	3月15日 (火)-18日 (金)	新潟大学	荻野			--	--	
					合計	40	250	

④2021年度専門委員会計画

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする。第2回のみ8/30(月)に開催とする。

	日時	開催場所	テーマ
第1回専門委員会	5月22日(土) 午後	機械振興会館	年度実行計画 FIT2021フォロー
第2回専門委員会	8月30日(月) 10時-12時	機械振興会館 1F102 予約済	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2022年度事業計画
第3回専門委員会	11月27日(土) 10時-12時	機械振興会館	2022年度体制 総合大会フォロー
第4回専門委員会	2月18日(金) 10時-12時	機械振興会館 1F102 予約済	論文賞選考委員会の立ち上げ 2022年度新体制の提出

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする。第2回のみ8/30(月)に開催とする。

⑤ 能上先生から学会への会計報告状況について

能上先生から会計報告があった。残高は357,000円あり、残金は年度末で一旦学会へ返金してリセットされ、翌年度に規定額が割り当てられる。

今年度は、講師に謝礼を払った実績はない。丸山先生は会員なので謝礼は不要。

第4回の小宮氏は謝礼が発生する可能性がある。謝礼の払い方、領収書などは要確認。

4. SWIM 研究会活性化

(1)リアルとオンラインの同時開催することの検討

機械振興会館で実施することを想定して、ネット環境や必要な追加機材の具体的な検討が必要である。

- ハイブリッド開催の運営方法のマニュアル作ったほうが良い
- ZOOMは個人持ちのアカウントではなく信学会のアカウントを使うほうが好ましい。しかし、直前にならないとアドレスがわからないという問題がある

5. その他

- 第三回研究会はワークショップであり、論文は査読されて採択されている。しかし、ダウンロードしたPDFでは「査読がない」（英語）という記載になっている。信学技法の表紙に「査読を経た」という記載がある。
- ISSへの推薦論文について、査読者の意見が分かれた論文があった。11月17日に須栗先生から推薦プロセスの案が示された。それでよいかを議論してほしい。
論文：持続可能な開発のためのITとAIガバナンスと評価
- 月曜日に須栗先生から専門委員宛に投票の依頼をするので、専門委員は一週間以内に投票する。投票結果の多数決で推薦の可否を決める。

以上